

「75 歳以上独居、高齢者のみ世帯高齢者支援事業」

目的・概要

新型コロナウイルス感染症による外出制限等により、高齢者の孤立、体力低下、認知面の低下が問題となっています。コロナ禍の令和 2 年、3 年度の 2 年間、高齢福祉課で確認できていない高齢者の状況について、安否確認も含めて訪問による調査を実施し、高齢者のニーズを把握することで今後の高齢者支援の方法を検討するとともに、支援が必要な高齢者については、支援につなぐことを目的に実施します。

訪問対象者

令和 2 年、3 年度

- 介護保険サービスを利用していない介護認定者
- 65 歳以上の奇数年齢の方へ実施している高齢者実態調査「はつらつ・あんしん調査」の未回答者

上記の対象者のうち、75 歳以上の独居、高齢者のみ世帯

実施時期

令和 4 年 1 月から 3 月（新型コロナウイルス感染症の拡大により延期 開始時期は未定）

調査方法

- 対象者へ、高齢福祉課より、訪問調査の実施について案内はがきを送付
- 訪問調査員が各対象者宅を訪問（対面でのアンケート調査）
- 留守の場合には、訪問に来た旨の手紙を投函（高齢福祉課の連絡先を記入）
- 3 回留守の場合には終了

訪問調査員

- ふれあい見守り推進員
- 「ささえる・つながるプロジェクト補助金」交付団体職員
- 高齢者支援の経験等がある方

令和 4 年 1 月 4 日時点で、調査員は 51 名応募